

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	年2回の避難訓練を行っているが、地域の協力を得ての訓練までには至っていない。	地域と連携した避難訓練を行えるように協力体制を整える。	・推進会議を通してさらに話し合い、事業所の現状を理解していただき、具体的な協力を得られるよう取り組む。 ・事業所の様子をお便りとして地域の方々に発信していく。	12ヶ月
2	41	お茶や食事時に水分を摂る大切さを理解しているものの、水分をあまり摂りたがらない利用者の方がいる。	水分不足による高齢者の脱水症の危険を理解し、今まで以上に、ひとり一人の状態に合わせた水分補給を心がける。	・水分チェック表を作成し一日の摂取量を目安に摂取できるようにする。 ・あまり水分を摂りたがらない利用者は、以前より多く水分を摂るようになってきているので、今後も声かけをし、水分補給の大切さを伝えていく。	12ヶ月
3	34	緊急時の対応はマニュアルに沿って、学習会等で理解できているものの、実際の事故や急変時には職員が落ち着いて対応できるのか不安である。	緊急時や事故に対しての対応を再確認し、実際の急変時に素早く、的確に対応できるよう実践力を身につける。	・緊急対応マニュアルをしっかりと把握する。 ・学習会を中心に看護師から学び、応急手当の訓練等も実施する。 ・外部研修にも積極的に参加し、知識・技術のレベルアップを図る。	12ヶ月
4	13	新人職員が多く、認知症、病状の理解に個人差があり、ケア統一に時間がかかる。	・認知症に関する理解とケアの基本を学ぶ。 ・理念の意味を理解し、日々の業務に活かす。	・定期的な学習会や外部の研修会や講習会への参加を多く取り入れスキルアップに繋げる。 ・朝の申し送りで、理念を唱和することで、意識しながら業務の中で実践に取り組む。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。